

2024年3月29日

各位

株式会社みなと銀行

淡路市の「脱炭素先行地域づくり事業」に対する
「グリーンローン」の取り組みについて
—株式会社ほくだんと契約を締結しました—

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（社長 武市 寿一）は、株式会社ほくだん（代表取締役 米山 正幸）に対し、「太陽光発電PPA事業の対象設備」を資金使途とする「グリーンローン」の取り組みを行いました。みなと銀行では太陽光発電PPA事業に対する「グリーンローン」は初めてとなります。

グリーンローンは、「グリーンローン原則 2023」等に則り、資金使途を環境に配慮した事業（グリーンプロジェクト）に限定する仕組みの商品です。

本ローンによる調達資金は、令和4年度環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金・脱炭素先行地域づくり事業」として淡路市が実行する事業のうち、株式会社ほくだんが直接企画・実行する太陽光発電PPA事業に係るプロジェクトに充当されます。

株式会社ほくだんは2021年に淡路市及びシン・エナジー株式会社と地域新電力事業連携協定を締結し、淡路市の施策に沿った事業展開を推進していくための「グリーンローン・フレームワーク」を策定しております。今般、当該フレームワークが各種原則等の要求事項に適合していることについて、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターから評価を取得しています。

みなと銀行は、今後も地域の皆さまへの様々な金融・情報サービスの提供を通じて、地域経済の発展と持続可能性の向上に取り組んでまいります。

1. 本ローンの概要

契約締結日	2024年3月29日
契約金額（総額）	16,500千円
資金使途	太陽光発電PPA事業に係る設備導入資金
SDGsの貢献	  

2. 本ローンの対象となるプロジェクトの詳細

目的	設備投資金額
聖隷こども園を電力需要家とする太陽光発電設備導入	25,036 千円
A I E 国際高等学校を電力需要家とする太陽光発電設備導入	27,940 千円
合計	52,976 千円

3. 環境改善効果

環境改善効果について、現状計画されている太陽光発電 P P A 事業（本件を含む9プロジェクトを予定）におけるCO2削減効果は以下の通り。

先行地域づくり事業における効果試算は 2,293t (=6,553,002kWh × 0.350 kg CO₂/kWh)

[出所：ほくだんグリーンローンフレームワーク]

4. 企業概要

会社名	株式会社ほくだん
所在地	兵庫県淡路市小倉 177 番地
代表者	米山 正幸
設立年月日	1997 年 11 月 25 日
資本金	29,000 千円
事業内容	北淡震災記念公園の管理運営、防災教育にかかる啓蒙、普及事業等の受託、電力の買取及び小売事業

■ 地域新電力事業連携協定の内容

- ①あわじ環境未来島が掲げる、地域で生み出されたエネルギーを活用する「エネルギーの地産地消」を推進する。
- ②地域の公共施設、市民及び地域の施設へ安定的に電力を供給するとともに、地域経済の活性化に寄与する活動を推進する。
- ③再生可能エネルギーの普及・促進に努め、より良い地球環境を残すため、脱炭素社会「カーボンニュートラル」の実現を推進する。

[出所：ほくだんグリーンローンフレームワーク]